

米国 FDA によるリコール情報(2023 年 11 月分)

2023 年 11 月に FDA により出されたリコールの一覧は、以下の通り。

日付	製品情報	リコール理由
11/30	カンタロープ(赤肉種のマスクメロン)を含むカットフルーツ	サルモネラ汚染の可能性
11/30	ベーグルサンドイッチ	ゴマアレルギーのラベル記載無し
11/29	チョコレートアーモンド味のホエイプロテインバー	異物混入の可能性
11/29	男性の性機能強化のための栄養補助食品	ラベルに記載のない医薬品シルデナフィルを含む
11/28	カンタロープ(赤肉種のマスクメロン)を含むカットフルーツ	サルモネラ汚染の可能性
11/28	生乳チーズ	リステリア・モノサイトゲネス汚染
11/24	ラズベリークリーム入りクッキー	ヘーゼルナッツのアレルゲンのラベル記載なし
11/22	カンタロープ(赤肉種のマスクメロン)	サルモネラ汚染の可能性
11/22	ターキー・グレービーソース	大豆アレルギーのラベル記載無し
11/22	カンタロープ(赤肉種のマスクメロン)	サルモネラ汚染の可能性
11/22	カンタロープ(赤肉種のマスクメロン)	サルモネラ汚染の可能性
11/22	チョコレートブラウニー	ピーナッツアレルギーのラベル記載無し
11/21	栄養補助食品	ラベルに記載のない医薬品シルデナフィルを含む
11/21	カスタードパイ	ココナッツアレルギーのラベル記載なし
11/18	様々な味のアイスクリーム、フローズンヨーグルト、及びジェラート	リステリア・モノサイトゲネス汚染の可能性
11/17	桃、プラム、およびネクタリン	リステリア・モノサイトゲネス汚染の可能性
11/16	サーモンバーガー	ゴマ、乳のアレルゲンのラベル記載なし
11/16	乾燥ドッグフード、乾燥キャットフード、およびナマズの餌	サルモネラ汚染の可能性
11/16	カンタロープ(赤肉種のマスクメロン)	サルモネラ汚染の可能性
11/15	栄養補助食品	ラベルに記載のない医薬品グリブリド、およびメホルミンを含む
11/14	栄養補助食品	未申告医薬品、ジクロフェナク
11/14	レーズン	亜硫酸塩のラベル記載なし
11/14	カンタロープ(赤肉種のマスクメロン)入りのカットフルーツ	サルモネラ汚染の可能性
11/9	ひよこ豆入り野菜チップス	乳アレルギーのラベル記載無し
11/9	ドッグフード、キャットフード	サルモネラ汚染の可能性
11/9	りんごとシナモン入りのフルーツピュー	高濃度の鉛

	レ・フルーツソース	
11/9	カンタロープ(赤肉種のマスクメロン)	サルモネラ汚染の可能性
11/7	サンドイッチ	大豆、乳のアレルゲンのラベル記載なし

11月にFDAから発行された28件のリコールのうち、食中毒の可能性や有害細菌に関するものが13件、ラベル表示におけるアレルゲン記載がなかったものが8件、栄養補助食品に医薬品が含まれているものが3件、有害重金属(鉛)、異物混入、ラベルに原材料記載の不備、がそれぞれ1件だった。「企業名(Company Name)」から、日系企業にかかる案件は確認できなかった。

今月はサルモネラ汚染、とりわけ、カンタロープ(赤肉種のマスクメロン)由来のサルモネラ汚染が8件と多くみられた。マスクメロンの皮は網目状であり、滑らかな皮の果物に比べて、細菌が付着しやすい。その上、マスクメロンは低酸性の食品であるため、断面を切り分けた際に細菌が入ると、繁殖しやすいという特徴がある。2021年11月8日より、日本産メロン生果実の輸出が可能となっているが、十分な注意が必要である。

米国に食品を輸出する際、アレルギー物質を使用している場合には、その原材料名を明確に表示しなければならない。表示が義務付けられているアレルギー物質は、乳、卵、魚(ヒラメ、タラなど)、甲殻類(カニ、ロブスター、エビなど)、ナッツ(アーモンド、クルミなど)、ピーナッツ、小麦および大豆に加え、2023年1月1日からゴマについてもアレルギー表示が義務化され、合計で9種類となった。魚、甲殻類、ナッツについては、その種も明記する必要がある。

適切なアレルゲンの表示が無い場合、特定の感受性の高い人に重篤な有害反応が起こる可能性があるため、アレルゲン表示漏れは、リコールカテゴリー「クラス1」と、最も深刻なカテゴリーに分類される。FDAは、製品にアレルゲンやその他の記載の無い成分が含まれないよう、取り締まりを行っている。

また、11/9にリコールとなった「りんごとシナモン入りのフルーツピューレ・フルーツソース」は、乳幼児向け食品であったが、米国では最近、市販のベビーフードに有害な重金属が多く含まれているものがあることが、問題視されて大きく報道されている。

出所:[リコール、市場からの撤退、および安全に関する警告](#) (英語)

【免責条項】本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用下さい。ジェトロでは、できる限り正確な情報の提供を心掛けておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロおよび執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承下さい。

本レポートに関する問い合わせ先:

日本貿易振興機構(ジェトロ)

ロサンゼルス事務所

TEL: 1-213-624-8855

Email: lag-USPF@jetro.go.jp

Eureka Global Solutions 作成